

入院のみ 外来のみ ○共通	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間
	悪性軟部腫瘍	ハラヴェン	○日常診療	術前化学療法	21日間
			臨床試験承認済・審議中	術後補助療法	
			治験承認済・審議中	進行・再発	予定総コース
		その他()		可能な限り	

☆上記のうち該当箇所に○を付けてください

処方No	薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与日(d1,8など)	投与経路
1	生理食塩液	200mL	30分	d1,8	主管
2	Dex 生理食塩液	2A 100mL	15分	d1.8	側管
3	ハラヴェン 生理食塩液	1.4mg/m2 50mL	5分	d1.8	側管

留意点および急性期有害事象等	<p><投与開始基準> ・好中球数:1,000/mm³以上 ・血小板数:75,000/mm³以上 ・非血液毒性:Grade2以下 【外来化学療法室施行基準】 WBC>2000mm³、Neutro>1000mm³、Hb>7.0g/dl、PLT>100,000/mm³、T-Bil<1.5mg/dl、GOT、GPT<施設基準上限2.5倍、血中クレアチニン1.5mg/dl以下、Ccr>60mL/min。</p> <p><有害事象> 好中球減少(G3以上:35%)、白血球減少(G3以上:10%)、貧血(G3以上:7%)、末梢神経障害(G3以上:2%)</p> <p><減量基準> 【各サイクル1週目】 <減量基準> ・7日間を超えて継続する好中球数減少(500/mm³未満) ・発熱又は感染を伴う好中球数減少(1,000/mm³未満) ・血小板数減少(25,000/mm³未満) ・輸血を要する血小板数減少(50,000/mm³未満) ・Grade3以上の非血液毒性 ・副作用等により、2週目に休薬した場合</p> <p>【各サイクル2週目】 <投与再開基準> 投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たした場合、減量して投与する。 <休薬基準> 投与延期後1週間以内に上記の投与開始基準を満たさない場合は、休薬する。</p> <p>減量前の投与量:1.4mg/m² → 減量後の投与量:1.1mg/m² 減量前の投与量:1.1mg/m² → 減量後の投与量:0.7mg/m² 減量前の投与量:0.7mg/m² → 減量後の投与量:投与中止を考慮</p> <p><その他注意> 本剤を5%ブドウ糖注射液で希釈した場合、反応生成物が検出されるため、希釈する場合は日本薬局方生理食塩液を使用すること。また、0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと</p>
----------------	---

参考文献	・Schöffski P et al. Eribulin versus dacarbazine in previously treated patients with advanced liposarcoma or leiomyosarcoma: a randomised, open-label, multicentre, phase 3 trial.Lancet. 2016 Feb 10. pii: S0140-6736(15)01283-0
------	--

夜間、帰宅時、対応医師への連絡先	整形外科病棟(3543)
------------------	--------------